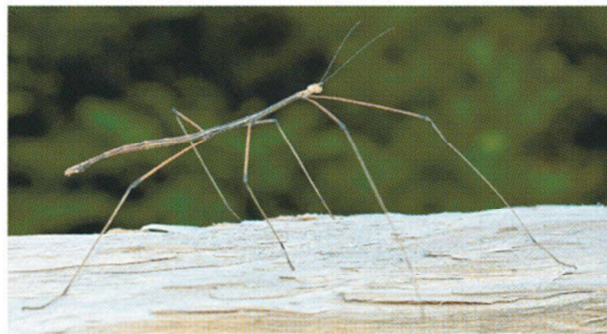


大玉で発見



ナナフシモドキの雄

まるで小枝のような昆虫息する。木の枝に擬態して「ナナフシモドキ」の雄が敵から身を守る。雄は10センチのほど、大玉村で見つかった。ナナフシモドキは交尾せず、雌だけで子孫を残す「単為生殖」ができるため、雄はこれまで全国で十数例しか確認されておらず、極めて珍しい。大玉村の佐々木浩司さん(39)が村内で発見、ムシテックワールド(須賀川市)に写真を送り、希少な雄であることが分かった。

ナナフシモドキはナナフシの仲間の代表的な種で、本州や四国、九州に広く生息する。木の枝に擬態して敵から身を守る。雄は10センチのほど、大玉村で見つかった。ナナフシモドキは交尾せず、雌だけで子孫を残す「単為生殖」ができるため、雄はこれまで全国で十数例しか確認されておらず、極めて珍しい。大玉村の佐々木浩司さん(39)が村内で発見、ムシテックワールド(須賀川市)に写真を送り、希少な雄であることが分かった。

近年、長野県でナナフシモドキが大発生し、調査・研究している信州大理学部、の東城幸治教授によると、これまでに10万匹以上見てきている中、雄を確認したのは1匹のみで、突然変異によるものだという。現在、ムシテックワールドでは雌雄を展示、貴重な姿を観察できる。

ナナフシモドキ 希少な雄

▲ 8月 8日 福島民友新聞掲載

みなさんも道ばたや木かげに目をやると、何か発見があるかもしれませんね。



記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ？

(Where) どこに生息している？

(Who) だれが？

(What) 何を？

(How) どんな特徴がある？

(Why) なぜ発見は珍しい？

Blank lined area for writing感想や意見.